

教育の充実と 青少年健全育成の強化

◆**学校の荒れ** 4月から市独自でスクールサポーターとスクールサポートカウンセラーを配置したことで、暴力行為などの生徒指導上の問題を未然に防ぎ、問題発生時には直ちに対応し、また、加害者と被害を受けた児童、生徒と保護者の精神的な悩みに支援、助言を行い、児童、生徒が安心して学校生活を送ることができるようになりたいと考えています。

◆**学力の向上対策** 全国学力・学習状況調査は、震災の影響などを考慮し、今年度実施を見送り、希望校には9月以降、作成済みの問題冊子などを配布するとの通知が文部科学省からありました。市としては、引き続き学力の指標に利用するため、問題冊子などの配布を受け、学力・学習状況調査を市内全小中学校で実施したいと考えています。また、新たな対策として、5名の学力向上専門委員に対策の検討をしていただき、新たな対策や週五日制のあり方を含め、学力向上対策の修正に関する提言を頂くこととし、第1回の会議を5月16日に開催しました。

◆**学校給食** 4月11日から北部小で、4年生の2学級分を七光台小で調理し、配送する親子方式給食を開始しました。保温性の高い容器を使用し、給食用の専用車で配送し、両校とも同一献立で給食を提供しています。

環境の保全

◆**新不燃物処理施設建設工事** 地元から出されている要望や選別作業に従事する知的障がい者の作業環境などを考慮しながら、工事実施設計に向け、関係者と協議を進めています。

都市計画決定は、5月17日の都市計画審議会で答申を頂き、県の同意を経て6月7日に告示を行い、今後、建築確認申請などの手続きを進め、11月ごろ着工、25年度当初の稼働開始を目指します。

◆**新清掃工場** 建設候補地は、中里工業団地内の土地も含めた市内全域を対象に改めて選定すべく、新清掃工場建設候補地選定審議会を設置し、全市民的見地から審議いただきたい考えです。

委員は、全市民的な審議とするため、市民の代表である市議会議員にも参加いただくことが重要との考えを理解いただき、各

会派から10人の議員の皆さんが参加いただけると聞いています。委員数は、議員10人に加え、学識経験者5人、自治会連合会代表2人、廃棄物減量等推進員会代表2人、市民公募委員7人の26人の予定で、2段階での審議を考え、第1段階は、来年1月ごろまでに複数の候補地を選定していただきたいと思います。

◆**有限会社柏廃材処理センター** 付近での排ガス問題 市で設置を急いでいた大気測定局は3月に引き渡しを受け、4月から試運転を開始、測定機を調整しながら観測を開始し、現状ではチャート紙でのデータ収集となっています。

◆**江川地区** 3月に案内図の看板を設置し、ビオトープマップ

自然と共生する地域づくり

◆**江川地区** 3月に案内図の看板を設置し、ビオトープマップ



水田型市民農園にはカエルやドジョウなども

まえ、目指すべき目標、将来像を策定したいと考えています。◆**コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム** 6月1日に栃木市と東海村が新たに会員となり、29市町村となり、引き続き野田市が代表理事に選出されました。今後、取り組みを広く発信し、参加の輪を広げ、関東地方のエコロジカルネットワーク実現に努めたいと考えています。

市としては、エコロジカルネットワーク形成の牽引役として、取り組みを加速させるため、専門家による第1回目の勉強会を4月28日に都内で開催し、シンボルとしてのコウノトリの飼育、放鳥の具体化の検討に着手しました。

さらに5月25日には、江川地区で2回目の勉強会を開催し、飼育場所の選定確認や生息環境の現地調査も行いながら、意見交換やアドバイスを頂きました。

今後、夏ごろまでに数回勉強会を開催し、結果をまとめていただく予定で、関係機関との調整を行いつつ、まずはコウノトリの飼育の実現に努めていきたいと考えています。